

三次市長賞

いとちゃんおめでとう

三次市立十日市小学校

第二学年 にし森 もか

わたしには妹がいます。名前は、いとちゃんです。毎朝、わたしが学校に行くときにげんかんまでついてきて、バイバイと手をふってくれる、かわいい妹です。

今日は、おばあちゃんたちをよんで、大人数でごはんをたべました。テーブルには、たいやおすし、おさしみをならべました。今日は、いとちゃんが一しようもちになったおたん生日会です。

いとちゃんが一しようもちをせおって、大なきをしました。ないて、すわりこんでしまったので、中のおもちをかるくしてもう一どチャレンジしてみたけれど、やっぱり立ち上がれずにないています。ずっとないているいとちゃんを見て、まわりのみんなはわらっていました。

つぎは、えらびとりです。いとちゃんは、ハイハイして行って、そろばんをとりました。ママに、

「わたしは何をとったの。」と聞いてみました。

「七年前、もっちゃんもそろばんをとったよ。」と教えてもらいました。いとちゃんとおなじそろばんだったなん

て、知りませんでした。うれしくなっていていとちゃんの方を見ると、さつきとったそろばんをカシヤカシヤとふっていました。いとちゃんも、よろこんでいるみたいです。

おたん生日会のさい後には、いとちゃんにプレゼントをわたししました。何をあげようか、まよっているとき、お小づかいでおもちやを買ってあげようかなと考えていました。でも、やっぱり、お手がみをわたすことにしました。お手がみには、こう書きました。

「いとちゃん、おたん生日おめでとう。いっしょに歩いたりあそんだりしようね。大すきだよ。」

わたしが手がみをわたすと、じっと見つめてから、つぎはわたしが手をブンブンとふり回しました。そして、ポイっとすてました。それを見て、またみんなで大わらいをしました。

わたしが書いた手がみは今、いとちゃんのかざってあります。わたしは、らい年も、そのつぎの年も、いとちゃんに手がみを書こうと書いています。字が読めるようになるまで毎年書いて、へやにかざってあげようと思っています。もうすこし大きくなったら、わたしが先生になって、ひらがなを教えてあげます。わたしが手がみをポイっとすてた、一さいのたん生日の話をおかしてあげようと思います。